

平成 2 1 年度 実施事業	事務事業名 汚水処理施設共同整備事業費
-------------------	----------------------------

区分	番号	名 称
章	2	自然とともに暮らすまち
節	1	環境への負荷の少ないまちをつくる
施策	3	生活排水の適正な処理
小分類	3	し尿の適正処理
主要な施策	1	し尿処理施設の整備
事務事業番号	004	事務事業コード 21331004 事業開始年度 平成 2 0 年度 事業終了年度 平成 2 3 年度

会計種別	公共下水道事業特別会計	予算書上の事務事業名	汚水処理施設共同整備事業費
------	-------------	------------	---------------

部 名	都市整備部	グループ名	下水道 G
-----	-------	-------	-------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

対象	(何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのかを具体的に記載ください) し尿のくみ取り世帯、単独及び合併浄化槽世帯、個別排水処理区域の世帯
手 段 (事業の内容・活動)	(目指す姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の内容を具体的に記載ください) 若山浄化センター内に「し尿投入施設」を建設し、し尿及び浄化槽汚泥の前処理を行い下水道で処理する。 し尿投入施設の建設 建物の構造 鉄筋コンクリート造 地上2階 地下1階 延べ床面積 698.26 m ² 事業計画 平成20年度 地質調査、実施設計 平成21年度～23年度 建設工事
目指す姿 (成果)	(事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載ください) し尿投入施設の建設により、し尿及び浄化槽汚泥を環境への負荷が少ない方法で処理することができる。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載ください) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律

指標の推移

区 分		単位	区分	21年度 実績	22年度 目標	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標
成果 指標	各年度毎の事業達成率	%	目標値	100	100	100		
			実績値	100				
			目標値					
			実績値					

事業費の推移

区 分				単位	21年度 決算	22年度 当初予算	23年度 見込	24年度 見込	25年度 見込	23～25年度 合計
事業 の 財 源 内 訳	国庫支出金	名称	公共下水道事業補助金	千円	142,384	108,900	1,300			1,300
	道支出金	名称		千円						0
	地方債	名称		千円	104,800	81,900	1,200			1,200
	その他	名称		千円	100,640	131,200	1,800			1,800
	一般財源	名称		千円						0
合 計					347,824	322,000	4,300	0	0	4,300
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費				職 員	千円	0	0			
				嘱 託 員	千円	0	0			
				臨時職員	千円	0	0			
				合 計		0	0			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後もしもが事業 主体として実施 していくことは 妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理 由、妥当ではな い理由は何です か？ し尿投入施設の建設により、し尿及び浄化槽 汚泥を環境への負荷が少ない方法で処理するこ とが目的であり、市が実施することが妥当であ る。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがって いますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあ がっている 成果があがらない	→ 成果があがって いる理由、あが らない理由はな んですか？ H 2 1 年度は施設建設に着手し、当初の予定 どおり事業を進めることが出来た。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させ ることはできま すか？	→	大きく向上させるこ とができる 少し向上させるこ とができる 向上させることはで きない	→ どのようにして 向上させます か？ 向上させること ができない理由 は何ですか？ 当初の予定どおり事業が進捗しており、事業を 継続することにより、成果を向上させることが できる。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさず にコスト（予算 や人工、所要時 間）を削減する ことはできます か？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法 でコストを削減 しますか？ 削減できない理 由はなんです か？ 工事費は北海道土木積算基準において、必要 最低限のものとなっている。 また、事務に係る人件費についても必要最低 限のものとなっている。

担当グループによる評価

維 持	左記の評価 を選択した 具体的な理 由（根拠）	し尿及び浄化槽汚泥を環境への負荷が少ない方法で処理することを目的として、し尿投入施設を建設することから、今後もしもし尿投入施設の建設に向けて事業を推進していく必要がある。
-----	----------------------------------	---

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維 持	備考
-----	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）